



芦安中学校だより

第 6 号

校長 石原敬彦
2018. 10. 19

中巨摩支部新人戦・女子シングルス優勝！女子ダブルス 3 位！

10月11日(木) 10月13日(土)の2日間にわたって中巨摩支部新人大大会が行われ、女子シングルスで2年生の一名が優勝、女子ダブルスでは同じく2年生の一ペアが3位に入りました。今大会には1・2年生のバドミントン部員は男女ともに全員が試合に出場しましたが、試合の結果はともかくとして、一人ひとり大きく成長した姿を見ることができました。プレーに合わせて、応援や会場でのあいさつやマナーにもチームとしての強い絆やスポーツマンらしいすがすがしさが感じられました。



ダブルス 3位



コーチのお話を真剣に聴く女子チーム



優勝した選手のところに駆け寄るチームメイト

芦安中夜叉神太鼓が山人会賞を受賞しました。

□前号でもお伝えしましたが、芦安中夜叉神太鼓が「山人会」より「山人会賞」をいただき、10月4日(木)に授賞式が行われました。「山人会」は、山梨県内の文化事業の助成を行い、学術文化の向上発展に寄与する事を目的として設立された公益財団法人です。選考委員の皆様からは「地域の指導者の協力を得る中での全校体制での活動であり、まさに人材育成、地域振興の素晴らしい姿」というコメントをいただきました。本校生徒の真摯な取り組みを誇りにすると同時に33年間の伝統を支えてくださいました地域の皆様、指導者の皆様にご改めて心より感謝を申し上げます。今回の受賞を励みに今後も全校一丸となり精進に努めていきます。11月10日(土)の芦安文化祭でも演奏いたします。



11月10日
芦安文化祭
場所
小学校体育館



合同校内研究会実施。芦安小学校とともに授業改善に取り組んでいます。

9月25日（火）に今年度2回目の芦安小学校との合同校内研究会を行いました。前回同様、講師に元岳陽中学校校長の佐藤雅彰先生をお招きし、小中学校のすべての学年の授業を参観していただきました。研究授業として5校時に中学2年生の英語の授業を行いました。小中の職員で参観し、授業後に研究協議を行いました。最後に研究会の締めくくりとして佐藤先生より小中全学年の授業についてのコメントも含めてご指導とご講義をいただきました。小中一貫教育に向けて今後も小学校との連携に努めていきます。



芦安小中道徳授業公開・芦安地区教育を語る会が開かれました。

10月14日（日）5校時間帯に全学年で一斉に道徳の授業を実施、公開いたしました。その後、会場を小学校の体育館に移して小中合同で教育を語る会を開催しました。今回は「芦安地域おこし協力隊」のお二方と「集落支援員」のお一方から、それぞれがされているお仕事についてお話をいただきました。芦安でお仕事をされるようになったその経緯について、どんなお仕事をされているのかその具体的な内容等、生徒にとっても身近で興味をかき立てられるお話だったと思います。その中で芦安地区への想いも語られ、生徒が自分たちの郷土について改めて考える良い機会になったのではないのでしょうか。ご参加をいただいた来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様のご協力に感謝を申し上げます。



学び合う姿に生徒の大きな成長を感じています。

本校は昨年度より、文部科学省の提唱する「主体的・対話的で深い学び」の具現化も見据えながら授業改善に取り組んでいます。特に、旧来の授業に多く見られた「一斉形式で全体に対して教師が問いを発し、答えられる生徒がそれに答え、正解が出たら次に進んでいく」という授業から脱却し、「教師が熟考し工夫をこらした課題を提示し、生徒がそれに協同でじっくりと取り組み、解決を目指しながら深く探究する」「基礎的な事柄をしっかりと身に付けると同時に高いレベルの課題にも挑戦する」「学んだことや意見・考え・作品を聴き合い、表現し合い、全体で吟味し、共有する」授業をめざしています。その実現のために、「わからないと言える」「自分から援助を求められる」「仲間に訊かれたら精一杯応える」という3つのことを大切に授業に取り組んでいます。今年の白峰祭の3年生の創作学年劇の中のセリフでした。「わからないと言うとみんなが教えてくれたんです」「わからないと言っても、ばかにされないし、恥ずかしくないの、この6人で本当に良かったです」。3年生はまさにこの劇中のセリフのように6人が支え合いながら協同で学び合う姿が日常となっており、その成長ぶりは本当にすごいと思います。2年生も3年生のようになってきています。1年生も今後が楽しみです。

